

令和2年8月29日・9月5日

大畔中ノ割遺跡 発掘現場見学会

(仮称) おおぐろの森小・中学校建設に伴い流山市立博物館では、平成30年5月から大畔中ノ割遺跡の発掘調査を継続しています。今回は (仮称) 中学校建設地点の発掘成果を公開します。

【現場見学会の見どころ】

- ・旧石器時代からの地層 (約30,000年前～現代) 足元の地層を観察
- ・縄文時代の住居跡 (約4,300年前) 大形石棒 (祭りの道具) が住居内から出土
- ・縄文時代の貝土坑 (約4,300年前) 縄文人が食べた貝殻が出土
- ・弥生時代の住居跡 (約1,800年前) 市内では調査例の少ない貴重な調査
- ・古墳時代の住居跡 (約1,700年前) 焼失住居 (火事になった住居) を多数調査
- ・近世の溝 (約300年前) 溝から富士山の火山灰が出土
- ・近世の道路や馬の墓 (約200年前) 大畔村の幹線道路や馬の墓を調査

【これまでの調査成果】



旧石器時代の石器出土状況 (約20,000年前)



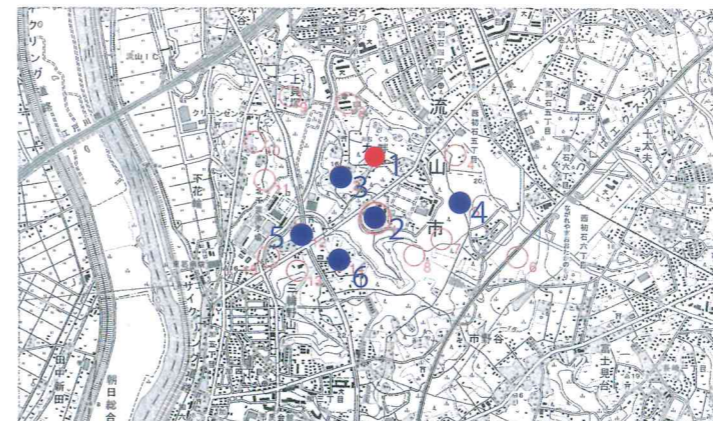
縄文時代早期の屋外炉 (炉穴・約8,000年前)



縄文時代前期の住居跡・貝層有 (約6,300年前)



古墳時代前期の住居跡の遺物出土状況 (約1,700年前)



1 大畔中ノ割遺跡 2 三輪野山向原古墳 3 大畔西割遺跡



ウマが埋葬された土坑 (約300年前)

主催 流山市立博物館

協力 (公財) 千葉県教育振興財団・(株) 地域文化財研究所